

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-185870

(43)公開日 平成5年(1993)7月27日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 0 P 3/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 7140-3D

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-22054

(22)出願日 平成4年(1992)1月10日

(71)出願人 592031145

有限会社ミナワ装飾

静岡県静岡市与一4丁目8番1号

(72)発明者 池田 博光

静岡県静岡市与一4丁目8番1号

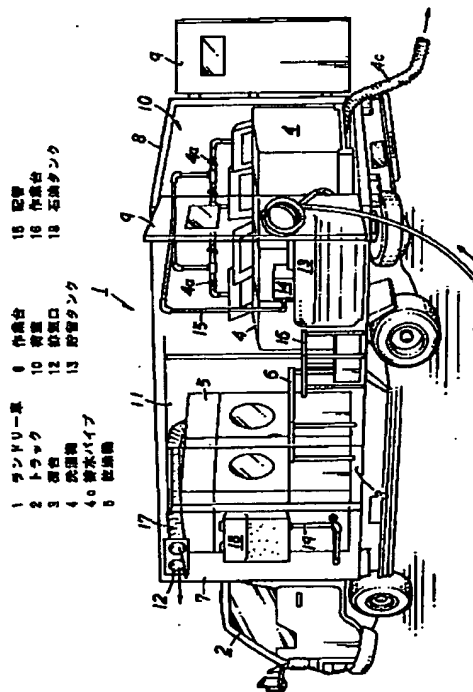
(74)代理人 弁理士 東山 喬彦

(54)【発明の名称】 ランドリー車

(57)【要約】

【構成】本発明はカーテンの取外し、洗濯及びカーテンの元の位置への取り付けの一連の作業をほぼ2時間以内でできるようにして、在庫を全く必要としないカーテンのメンテナンスを可能とするためになされたランドリー車に関するものであって、トラックの荷台に洗濯機と乾燥機と作業台とを具えて成ることを特徴とする。

【効果】病院やホテルでは、従来のようにカーテンの在庫を保有し、その管理を行う必要もなく、カーテンを効率的に且つ経済的にメンテナンスすることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 トラックの荷台に洗濯機と乾燥機と作業台とを具えて成ることを特徴とするランドリー車。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の目的】

【産業上の利用分野】本発明は荷台の一部を改良した自動車に関する。

【0002】

【発明の背景】病院やホテル等で使用されるカーテンは、長い間放置されてしまうことが多く、見た目よりも汚れているのが現状である。しかしカーテンのクリーニングを通常のクリーニング店で行おうとすれば、カーテンの洗濯には一週間程度の期間を要することから、洗濯中に使用するカーテンの在庫を用意しておかなければならず、費用面や在庫管理のスペースの点で問題がある。

【0003】そのため近年カーテンに変えてブラインドを採用する場合もあるが、長年使用すると羽根が折れたり、羽根の上にはこりが積もって却って不衛生であるなどの理由から、最近ではカーテンの良さが再認識され、再びカーテンに切り替えることも少なくない。そこで病院やホテルでは、人手不足の中、カーテンのメンテナンスをいかに効率的に且つ経済的に行うかが一つの課題となっていた。

【0004】

【開発を試みた技術的事項】本発明はこのような背景に鑑みなされたものであって、カーテンの取外し、洗濯及びカーテンの元の位置への取り付けの一連の作業をほぼ2時間以内でできるようにして、在庫を全く必要としないカーテンのメンテナンスを可能としたランドリー車の開発を試みたものである。

【0005】

【発明の構成】

【目的達成の手段】即ち本出願に係る発明たるランドリー車は、トラックの荷台に洗濯機と乾燥機と作業台とを具えて成ることを特徴として成り、もって前記目的を達成せんとするものである。

【0006】

【発明の作用】本発明ではトラックの荷台に洗濯機と乾燥機と作業台とを具えるから、病院やホテルまでトラックで移動し、そこで短時間の作業でクリーニングを行うことができる。

【0007】

【実施例】以下本発明を図示の実施例に基づいて具体的に説明する。図1中、符号1は本発明たるランドリー車であって、このものはトラック2の荷台3に四台の洗濯機4と二台の乾燥機5と作業台6とを具えて成る。

【0008】まずトラック2の構造について簡単に説明する。このものは荷台3の上に側壁7と天板8と観音開き式のバックドア9とを設けて、これらによって囲まれ

た部分に荷室10を形成して成る二トントラックである。

【0009】このようなトラック2の進行方向左側の側壁7には、中央よりもやや前寄りにスライド式のサイドドア11が設けられる。因みにこのサイドドア11は、側壁7の外側後方へスライドして開けることができるようになっている。またトラック2の進行方向右側の側壁7の前方寄りの上部には、乾燥機5から出る排気ガスを荷室10の外へ出すための排気口12が形成される。

尚、トラック2の形式は荷室を有するものに限られず、単にフラットな荷台のみを具えるものや、ウイング形式の荷台を具えるものなどを適用してもよい。

【0010】次に荷室10内の構造について説明する。尚、以降の説明において「左」あるいは「右」という場合には、トラックの進行方向を向いて左側あるいは右側を意味する。まず荷室10の右側の側壁7に沿って、バックドア9側から四台の洗濯機4が隣り合わせに配置される。

【0011】各洗濯機4の上部には、蛇口4aが設けられ、一方洗濯機4の下方には、洗濯機の排水ホース4bから流れる排水を集めて荷室10外へ流し出すための排水パイプ4cが設けられる。尚、排水パイプ4cは洗濯機使用時に、その端部側をバックドア9から外へ出して側溝等へ入れることが出来るように十分な長さを有する。尚、本実施例における洗濯機4は全自動式のものであるが、二槽式など他の種類のものを適用してもよい。

【0012】またこれら洗濯機4の向かい側のバックドア9寄りには、300リットル容量の貯留タンク13が置かれ、その前方側には洗濯物を折り畳むための作業台6が配置される。因みに貯留タンク13は、四台の洗濯機4で使用する水を溜めておくためのものであって、タンク内の水はこのものに設けられた加圧ポンプ14によって、荷室10内の配管15を介して前記蛇口4aから洗濯機4へ供給できるようになっている。

【0013】次に荷室10内の最も前方には二台の乾燥機5が並べて配置され、その手前には洗濯物を折り畳むための作業台16が配置される。尚、各乾燥機5から延びる排気ホース17は、側壁7における排気口12に接続される。また乾燥機5と左側の側壁7との間には石油タンク18が設けられ、ここから各乾燥機5まで石油供給パイプ19が延びる。

【0014】一方乾燥機5の手前側には、天板8に対して折り畳み補助装置20が設けられる。このものは図4に示すように、天板8に固定した複数のL金具21に対して互いに平行に二本のスライドレール22を設け、これらスライドレール22にはその一端側に固定挟持杆23を設けるとともに、可動挟持杆24をスライドレール22に対して摺動自在に設けたものである。

【0015】そして可動挟持杆24には、固定挟持杆23の反対側にスライドレール22を巻くようにしてコイ

ルバネ25がそれぞれ設けられ、この伸び傾向によって可動挟持杆24が常に固定挟持杆23に圧接傾向にある。また可動挟持杆24には連絡紐26が接続し、この連絡紐26の端部は、滑車27を介して荷室10の床面に設けた蝶番状の足踏み具28における可動片29に接続される。

【0016】因みにこのような折り畳み補助装置20は、洗濯が終了したカーテンを折り畳む時に、狭い荷室10内で比較的大きなカーテンを一人で容易に折り畳むことができるようにしたものであって、使用に際しては、足踏み具28における可動片29を足で踏み込むことで可動挟持杆24を固定挟持杆23から離れた状態とし、可動挟持杆24と固定挟持杆23との間にカーテンの端部を挟んだ状態で足踏み具28における可動片29の足踏みを止めて、カーテンを保持させて折り畳み作業を行う。

【0017】以上が荷室10内の構造であるが、洗濯機4や乾燥機5及びその他の設備の配置や数量はこれに限るものではなく、荷室10の広さや構造等に応じて適宜荷室10内の構造を変えることができる。

【0018】本発明のランドリー車1は以上述べた構造を有するものであり、以下このものを使用してカーテンの洗濯を行う作業手順について説明する。

i) 作業場所への移動

まずランドリー車1を病院やホテルの敷地内へ移動して車を止め、そこで貯留タンク13への給水、電源との接続、排水パイプ4cのセット、石油タンク18のバルブ開放、排気口12の扉開放などの準備をする。尚、ランドリー車1を駐車する場所は、貯留タンク13への水の供給が可能であること、建物からの電気の供給が可能であること等を考慮して決定する。また尚、作業準備の一環として、あらかじめ貯留タンク13に水を満タンにしておいたり、電気の供給が困難な場合を想定して発電機を搭載しておいてもよい。

【0019】ii) カーテンの取外しとヒルカン処理
洗濯の準備が完了したら、病室等のカーテンをカーテンレールから取外してランドリー車1に集める。また取り外したカーテンは、そのままの状態で洗濯機にかけるとヒルカンがカーテン生地や洗濯機を傷めることがあるため、ヒルカン同士をまとめて、これをネットで覆い、紐等で縛っておくというヒルカン処理を行う。尚、ホテルの窓のカーテンなど生地が厚くヒダの多いものでは、ヒルカンも比較的高級なものを使用するが、このようなカーテンではヒルカンをカーテンから取り外して洗濯を行う。

【0020】iii) 洗濯

ヒルカン処理したカーテンを洗濯機4の中に入れ、蛇口4aから貯留タンク13内の水を洗濯機4に供給して洗剤を入れて洗濯を行う。尚、本実施例の洗濯機4は全自動式であるため、すすぎないし脱水までの工程を連続的

に行う。また洗濯排水は、各洗濯機4の排水ホース4bを介して排水パイプ4cから近くの側溝等へ流す。

【0021】iv) 乾燥

洗濯及び脱水の完了したカーテンを乾燥機5へ移して乾燥を行う。尚、洗濯機5へ水を供給してから乾燥を終了するまでの一連の工程に要する時間は55分程度である。

【0022】v) 折り畳み

乾燥が終了したら前記ヒルカン処理を解除して、作業台6、16上でアイロンを掛け、次にこれを折り畳み補助装置20における可動挟持杆24と固定挟持杆23との間に挟んで折り畳み作業を行う。ある程度小さくカーテンを折り畳んだら、再び折り畳まれたカーテンを作業台6、16上に乗せ、仕上げのアイロン掛けを行いながら最終的な折り畳み作業を行う。

【0023】vi) カーテンの取付けと作業終了

折り畳んだカーテンを元の病室等に搬入して、洗濯されたカーテンをカーテンレールに取り付ける。一方荷室10内では貯留タンク13内の水抜きを行い、洗濯機4にバックシンをかうとともに、乾燥機5のフィルターの清掃、石油タンク18のバルブ締め、排気口12の閉鎖、排水パイプ4cの巻き込みなどの終業作業を行う。尚、カーテンの取外しと作業準備をしてから作業終了までの所要時間は、1時間30分〜2時間程度である。

【0024】

【発明の効果】本発明たるランドリー車は、トラックの荷台に洗濯機と乾燥機と作業台とを具えて成るから、病院やホテルなどへランドリー車を移動し、その場で約2時間以内でカーテンの洗濯を終了してカーテンの取付けまで完了することができる。従って病院やホテルでは、従来のようにカーテンの在庫を保有し、その管理を行う必要もなく、カーテンを効率的に且つ経済的にメンテナンスすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のランドリー車を示す透視斜視図である。

【図2】同上天板を取り除いた状態を示す鳥瞰図である。

【図3】同上洗濯機周辺の管路状態を示す正面図である。

【図4】同上折り畳み補助装置を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 1 ランドリー車
- 2 トラック
- 3 荷台
- 4 洗濯機
- 4a 蛇口
- 4b 排水ホース
- 4c 排水パイプ
- 5 乾燥機

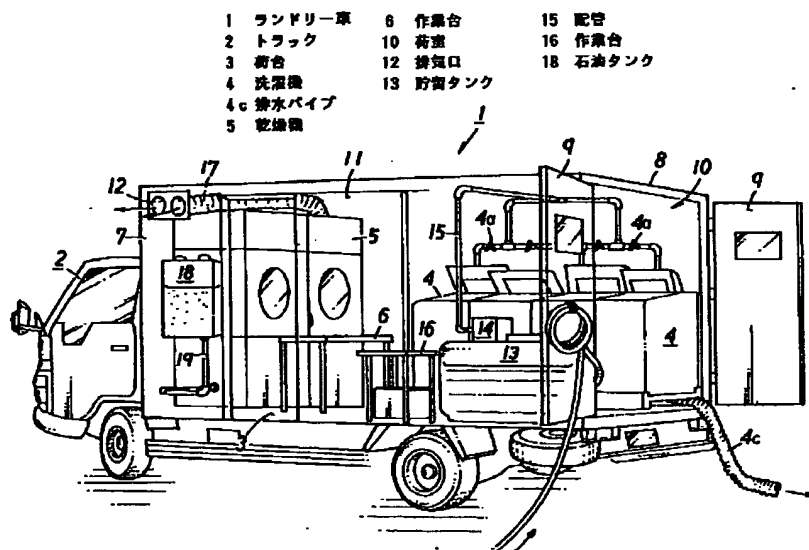
5

6

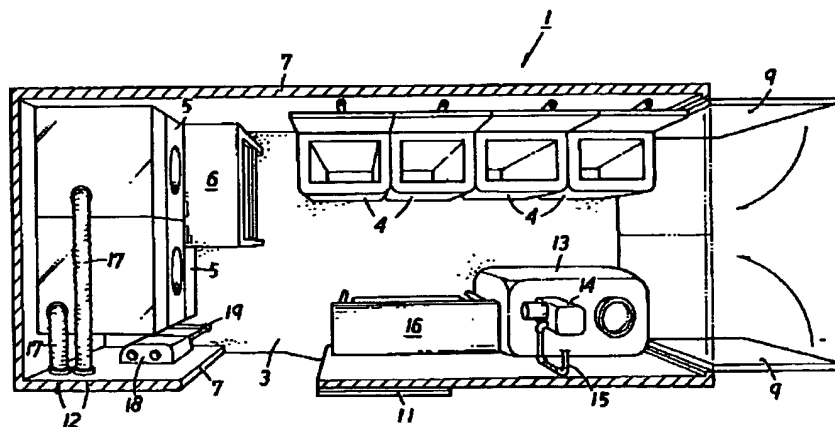
- 6 作業台
- 7 側壁
- 8 天板
- 9 バックドア
- 10 荷室
- 11 サイドドア
- 12 排気口
- 13 貯留タンク
- 14 加圧ポンプ
- 15 配管
- 16 作業台
- 17 排気ホース

- 18 石油タンク
- 19 石油供給パイプ
- 20 折り畳み補助装置
- 21 L金具
- 22 スライドレール
- 23 固定挟持杆
- 24 可動挟持杆
- 25 ねじりコイルバネ
- 26 連絡紐
- 27 滑車
- 28 足踏み具
- 29 可動片

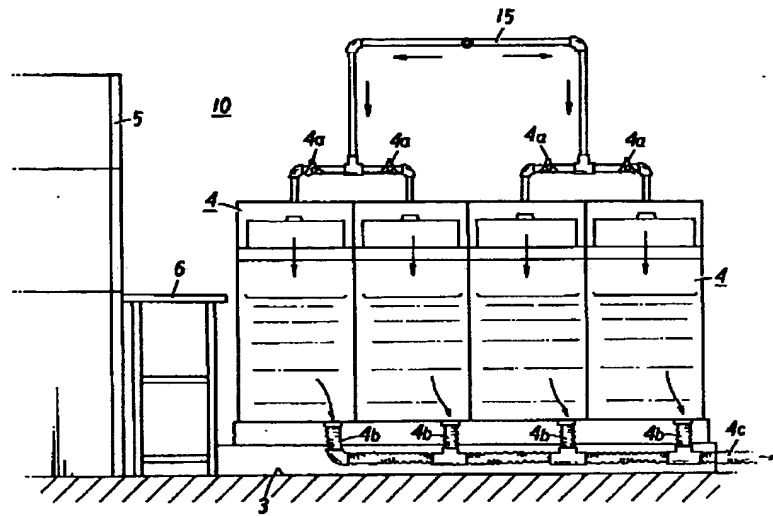
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

